



in ほっかいどう

引き続き 今冬の節電のお願い

3月31日(木)までの
平日8:00-21:00

※「数値目標なしの節電」ですが、一つの目安として定着節電として見込まれている2010年度最大電力比▲5.9%を参考としてください。

2015年度冬季の節電をお願いしている期間があと一ヶ月少しとなりました。皆様の節電のご協力等により北海道の電力需給は、これまでのところ安定を維持しております。他方、大規模な発電所のトラブル等が発生した場合、安定供給ができない可能性が懸念されます。政府、電力会社においては、引き続き供給力の確保に最大限の努力をして参ります。冬の北海道において安定的に電気を供給するため、大変なご迷惑をおかけしますが、引き続き無理のない範囲での節電のご協力をお願い申し上げます。

〈担当：総合エネルギー広報室〉



事業者向け省エネ補助金のご紹介

今後実施が予定されている事業者向け省エネ補助金についてご紹介いたします。ぜひご活用ください。

中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

エネルギー使用合理化等事業者支援補助金

平成27年度補正予算額 **442.0億円**

平成28年度予算案額 **515.0億円**

- 省エネ効果が高い照明、空調、ボイラ等の設備への更新の一部を補助します。
- なお、対象設備がトップランナー制度対象の場合は、トップランナー基準※以上の設備を補助対象にします。

- 工場・事業場単位での省エネ・電力ピーク対策や事業者間の省エネ対策を行う際に必要となる費用を補助します。
- その際、省エネ法との連携を重視し、トップランナー制度対象機器を導入する場合、トップランナー基準を満たす製品に対象を限定します。

※トップランナー基準：指定された製品のうち、その時点で最も省エネ性能に優れた製品の省エネ水準、技術進歩の見込み等を参考に定められたエネルギー消費効率の基準

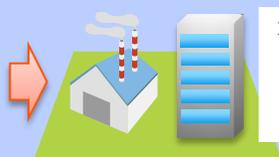
省エネルギー設備への更新等を支援

省エネ・電力ピーク対策事業 (設備の更新によって、事業場全体で省エネを実現)

対象機器の例：

 照明	 ボイラ	 空調	 炉	 給湯	 FEMS
例 高効率照明	例 高性能ボイラ	例 高効率空調	例 低炭素工業炉	例 ヒートポンプ式給湯器	

設備の更新
例) ボイラ
エアコン
LED照明
等



事業場全体の
・エネルギーコストが削減
・ピーク時の電力使用量を削減

【公募期間】未定 【応募先】(一社)環境共創イニシアチブ 【補助率】1/3以内

【公募期間】未定 【応募先】未定
【補助率】1/3以内 (ただしエネルギー管理支援サービス事業者を活用した事業は1/2以内)

上記の省エネ補助金に加え、温暖化対策補助金、電力自由化に関する説明会を全道各地で開催しております。詳細については以下のURLからご参照ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20160115/index.htm>

〈担当：エネルギー対策課〉

北海道での環境やエネルギーの取組や国等の施策を活用した事業の活動状況とその後などを紹介しています。

電気の「見える化」システムを活用した デマンドピーク対策と設備導入等による節電・省エネ

＜秋山不動産（有）愛生館ビル（札幌市）＞

概要

テナントビルにおいて、電気の「見える化」システムを活用して、節電・省エネ対策を実施。ビル全体のエネルギー使用量を把握したうえで、ピーク対策や高効率設備の導入等により、快適性を損なわない節電・省エネ成果を実現。

削減手法

- ①電気の「見える化」システムにより一日の電気の使用状況を把握して、電力ピークの原因となっていた冬期の空調用ボイラーの立ち上げを時間差で実行。導入当初213kWあった電力ピークを140kWまで削減。
- ②ビル全体の照明を更新するとともに、すべての窓に樹脂製の断熱内窓を設置。改修前の年間電気使用量と比較すると、約27%の削減効果。
- ③従来は外気温が一定温度以下に達した場合に、自動でロードヒーティングが稼働していたため、積雪がない状況で稼働するケースが散見。そのため、天候、外気温、積雪の有無に合わせて手動でスイッチを入り切りすることで、無駄な待機電力を削減。



	節電・省エネ効果		事業費総額：約3,000万円
	エネルギー使用量 (原油換算k)	電力使用量 (千kWh)	最大使用電力 (kW)
取組前	129.8	511.1	213
取組後	86.1	340.0	140
削減率	33.7%	33.5%	34.3%

節電・省エネの取組みをご検討の方は、以下の『事例集』をご覧ください。

経済産業省北海道経済産業局では、北海道内の企業・団体等が節電・省エネに取り組み、成果を上げている事例をウェブサイト上で紹介しています。

詳細は、以下のURLからご参照ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/setsuden/index.htm>

※「省エネ 虎の巻」でも検索できます。

＜担当：エネルギー対策課＞

電力の小売全面自由化 よくある質問Q&A

Q. 電力小売全面自由化って、どういうことですか？

A. これまで家庭向けの電気は、各地域を供給区域とする電力会社だけが販売しており、電気をどの会社から買うか選択はできませんでした。2016年（平成28年）4月1日以降は、家庭向けの電気の小売業への新規参入が全面的に自由化されることにより、家庭も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになります。

Q. 電力会社を変えるには、どうすればよいのでしょうか？

A. 電力会社の切替えを希望される場合は、切替先の電力会社にご連絡下さい。切替えに要する期間は

①スマートメーター※への取替工事が必要となる場合は、2週間程度

②取替工事が不要である場合は、4日程度

です。なお、具体的な切替日は切替先の電力会社にご確認下さい。

※通信機能を有し、遠隔での検針等が可能となる新しい電力量計です。※なお、2016年（平成28年）4月の小売全面自由化開始の直前・直後など、電力会社の切替申込み数が非常に多い場合は、切替に時間がかかる可能性があります。

Q. 電力会社を変えると新たに電線を引かなければならないのでしょうか？また、停電がたくさん起こるようになってしまう恐れはないのでしょうか？

A. 今ある送配電網を使うので新たに電線を引く必要はありませんし、電気そのものの品質や信頼性（停電の可能性など）は、どの会社から電気を買っても同じです。契約した電力会社が電気を調達できなかった場合でも、送配電網を管理する会社がその分を補給するので、ただちに電気の供給が止まることはありません。

Q. 契約した電力会社が倒産したら電気の供給は止まってしまうのですか？

A. 別の電力会社を選択して供給をしてもらうこともできますし、現在供給している電力会社が最後は電気の供給を義務付けられているので、ただちに電気の供給が止まることはありません。

電力小売自由化についての解説は、以下のURLからご参照ください。

http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/electricity_liberalization/

＜担当：電力取引監視室＞

「実践！おうちで省エネ スマホアプリ」をリニューアル

経済産業省北海道経済産業局では、ご家庭で簡単に取り組みめる省エネ術や節約効果（金額、CO₂排出量）が具体的に分かる機能等を盛り込んだスマホアプリを無料配信しています。この度、毎月の光熱費を記録することによりグラフで推移が確認できる機能や、ゲーム感覚で省エネについて学ぶことができる機能を新たに搭載しました。

是非ご活用頂き、ご家庭の省エネ・節電の取組にお役立てください。

※本アプリは、Google Play及びApp Storeから、無料でダウンロードできます。

「おうちで省エネ」と検索してください。

※詳しくは、以下のURLをご参照ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/h27ouchi/index.htm>

＜担当：総合エネルギー広報室＞

